

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

| | |
|------|-------------|
| 学校名 | 静岡デザイン専門学校 |
| 設置者名 | 学校法人静岡理工科大学 |

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

| 課程名 | 学科名 | 夜間・通信制の場合 | 実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数 | 省令で定める基準単位数又は授業時数 | 配置困難 |
|-----------------|--------------|-----------|-----------------------------|-------------------|------|
| 専門課程 (服飾・家政) | ファッションビジネス科 | 夜・通信 | 930 | 160 | |
| | ファッションデザイン科 | 夜・通信 | 1,980 | 240 | |
| | ブライダル・ビューティ科 | 夜・通信 | 1,140 | 160 | |
| 専門課程 (文化・教養) | グラフィックデザイン科 | 夜・通信 | 3,390 | 240 | |
| | プロダクトデザイン科 | 夜・通信 | 2,100 | 240 | |
| | インテリアデザイン科 | 夜・通信 | 390 | 240 | |
| | フラワーデザイン科 | 夜・通信 | 750 | 160 | |
| (備考) | | | | | |

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

| |
|---|
| https://www.sdc.ac.jp/school/school-info/#public-info |
|---|

3. 要件を満たすことが困難である学科

| |
|-----------|
| 学科名 |
| (困難である理由) |

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

| | |
|------|-------------|
| 学校名 | 静岡デザイン専門学校 |
| 設置者名 | 学校法人静岡理工科大学 |

1. 理事（役員）名簿の公表方法

| |
|---|
| 学校法人静岡理工科大学のホームページ（ http://www.sist-net.ac.jp ）にて公開中の事業報告書に記載 |
|---|

2. 学外者である理事の一覧表

| 常勤・非常勤の別 | 前職又は現職 | 任期 | 担当する職務内容や期待する役割 |
|-----------------------------|--------|--------------------------|---------------------------|
| 非常勤 | 株式会社役員 | 平成29年10月1日～ 令和元年9月30日 | 学校法人運営についての意見 財務担当 |
| 非常勤 | 株式会社役員 | 平成30年4月1日～ 令和2年3月31日 | 学校法人運営についての意見 情報 IR 担当 |
| (備考) 学外者である理事は上記の2名を含め合計8名。 | | | |

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

| | |
|------|-------------|
| 学校名 | 静岡デザイン専門学校 |
| 設置者名 | 学校法人静岡理工科大学 |

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

| | |
|---|---|
| 1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。 | |
| (授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) | |
| <p>授業計画(シラバス)の作成過程及び公表について</p> <p>12月 ～ 次年度授業計画の策定</p> <p>1月 ～ 担当教員への授業計画(シラバス)作成依頼</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業計画(シラバス)テンプレート配布 ・授業計画(シラバス)ガイドライン配布 <p>2月 ～ 授業計画(シラバス)回収・チェック</p> <p>3月 ～ 授業計画(シラバス)訂正・公表準備</p> <p>4月 ～ 授業計画(シラバス)公表</p> | |
| 授業計画書の公表方法 | https://www.sdc.ac.jp/school/school-info/#public-info |
| 2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。 | |
| (授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) | |
| <p>各学科の定めるディプロマポリシー(卒業認定/専門士授与の方針)に掲げる資質・能力の習得状況等は、カリキュラムポリシー(教育課程編成・実施の方針)の「成績評価の方法」に掲げる方法に加え、学生生活上の客観的な指導、卒業対象学生に行うアンケート調査の状況、各種資格取得状況・制作した作品のレベルと志望進路状況(専門領域への就職率及び進学率等)から学修成果の達成状況の評価する。</p> | |

| <p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>成績は、科目ごと4段階評語(優・良・可・不可)、素点(0~100点)による評価で表す。不可及び59点以下は不合格となり単位を修得できない。また、成績評価をポイントに変換し、その総和の平均を成績評価指標とする。成績証明書は、4段階評価の評語で表示される。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評語</th> <th>素点</th> <th>意味</th> <th>ポイント</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>優</td> <td>80~100点</td> <td>到達目標をほぼ達成している。</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>良</td> <td>70~79点</td> <td>不十分な点は認められるものの、到達目標を達成している。</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>可</td> <td>60~69点</td> <td>到達目標の最低限は満たしている。</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>不可</td> <td>0~59点</td> <td>到達目標を充足していない。</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>成績評価指数 = ((4×優の科目数)+(2×良の科目数)+(1×可の科目数)) ÷ 科目数</p> | | 評語 | 素点 | 意味 | ポイント | 優 | 80~100点 | 到達目標をほぼ達成している。 | 4 | 良 | 70~79点 | 不十分な点は認められるものの、到達目標を達成している。 | 2 | 可 | 60~69点 | 到達目標の最低限は満たしている。 | 1 | 不可 | 0~59点 | 到達目標を充足していない。 | 0 |
|---|---|-----------------------------|------|----|------|---|---------|----------------|---|---|--------|-----------------------------|---|---|--------|------------------|---|----|-------|---------------|---|
| 評語 | 素点 | 意味 | ポイント | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 優 | 80~100点 | 到達目標をほぼ達成している。 | 4 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 良 | 70~79点 | 不十分な点は認められるものの、到達目標を達成している。 | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 可 | 60~69点 | 到達目標の最低限は満たしている。 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 不可 | 0~59点 | 到達目標を充足していない。 | 0 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 客観的な指標の算出方法の公表方法 | https://www.sdc.ac.jp/school/school-info/#public-info | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>本校を卒業する人材は、学則にある「教育基本法に則り、学校教育法に従い、服装並びにデザイン業務に関する知識・技能を授けるとともに一般教養を高め、有能な職業人、社会人を育成する」ことが教育目的であり、学科ごとの専門教育を学習し、以下の能力等を有している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 専門分野についての基本的な技術・知識を有し、社会のその分野の中で活用することができる。 ■ キャリア教育等の基本的なスキルを身につけている。 ■ 社会人基礎力を身につけている。 <p>また、以下の条件を満たしていなければならない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 必須科目の成績評価に不可が無いこと。 ■ 年間出席時限数が850単位時間(425時限)以上であること。 ■ 学納金が未納でないこと。 <p>本校のディプロマポリシーに基づき、各学科のディプロマポリシーを設定する。</p> <p>全校共通および各学科のディプロマポリシーの定める基準に達しており、全ての科目を修得(不可科目がないこと)した者に卒業を認定している。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 卒業の認定に関する方針の公表方法 | https://www.sdc.ac.jp/school/school-info/#public-info | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

| | |
|------|-------------|
| 学校名 | 静岡デザイン専門学校 |
| 設置者名 | 学校法人静岡理工科大学 |

1. 財務諸表等

| 財務諸表等 | 公表方法 |
|--------------|---|
| 貸借対照表 | http://sist-net.ac.jp/pdf/H30/kessan01_02-H30.pdf |
| 収支計算書又は損益計算書 | http://sist-net.ac.jp/pdf/H30/kessan01_03-H30.pdf |
| 財産目録 | http://sist-net.ac.jp/pdf/H30/kessan01_01-H30.pdf |
| 事業報告書 | http://sist-net.ac.jp/pdf/H30/kessan02_01-H30.pdf |
| 監事による監査報告（書） | http://sist-net.ac.jp/pdf/H30/kessan03_02-H30.pdf |

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

| 分野 | | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | |
|----------|----|---------------------------|--------------------|--------------------|--------------------|-------------|-------------|
| 服飾・家政 | | 専門課程 | ファッションビジネス科 | ○ | | | |
| 修業 年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 2年 | 昼 | 1,920 単位時間/単位 | 390 単位時間 /単位 | 780 単位時間 /単位 | 750 単位時間 /単位 | 単位時間 /単位 | 単位時間 /単位 |
| | | | 1,920 単位時間/単位 | | | | |
| 生徒総定員数 | | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 | 兼任教員数 | 総教員数 | |
| 40人 | | 49人 | 0人 | 3人 | 19人 | 21人 | |

| | | | |
|---|---------|-----------------------------|------|
| カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画） | | | |
| (概要) 授業計画(シラバス)の作成過程及び公表について 12月 ～ 次年度授業計画の策定 1月 ～ 担当教員への授業計画(シラバス)作成依頼 ・授業計画(シラバス)テンプレート配布 ・授業計画(シラバス)ガイドライン配布 2月 ～ 授業計画(シラバス)回収・チェック 3月 ～ 授業計画(シラバス)訂正・公表準備 4月 ～ 授業計画(シラバス)公表 | | | |
| 成績評価の基準・方法 | | | |
| (概要) 成績表は、科目ごと4段階評語(優・良・可・不可)、素点(0～100点)による評価で表す。不可および59点以下は不合格となり、単位を修得できない。また、成績評価をポイントに変換し、その総和の平均値を成績評価指標とする。 成績証明書は、4段階評価の評語で表示される。 | | | |
| 評語 | 素点 | 意味 | ポイント |
| 優 | 80～100点 | 到達目標をほぼ達成している。 | 4 |
| 良 | 70～79点 | 不十分な点は認められるものの、到達目標を達成している。 | 2 |

| | | | |
|----|--------|------------------|---|
| 可 | 60～69点 | 到達目標の最低限は満たしている。 | 1 |
| 不可 | 0～59点 | 到達目標を充足していない。 | 0 |

成績評価指数= (4×優の科目数) + (2×良の科目数) + (1×可の科目数) ÷ 科目数

卒業・進級の認定基準

(概要)

本校を卒業する人材は、学則にある「教育基本法に則り、学校教育法に従い、服装並びにデザイン業務に関する知識・技能を授けるとともに一般教養を高め、有能な職業人、社会人を育成する」ことが教育目的であり、学科ごとの専門教育を学習し、以下の能力等を有している。

■専門分野についての基本的な技術・知識を有し、社会のその分野の中で活用することができる。

■キャリア教育等の基本的なスキルを身につけている。

■社会人基礎力を身につけている。

また、以下の条件を満たしていなければならない。

■必須科目の成績評価に不可が無いこと。

■年間出席時限数が年間消化時間の85%以上であること。

■学納金が未納でないこと。

本校のディプロマポリシーに基づき、各学科のディプロマポリシーを設定する。

学修支援等

(概要)

- ・個別指導の実施
- ・補習、再テスト等の実施による習熟度向上対策の実施

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

| 卒業生数 | 進学者数 | 就職者数 (自営業を含む。) | その他 |
|---------------|------------|-------------------|--------------|
| 21人 (100%) | 0人 (0%) | 20人 (95.2%) | 1人 (4.8%) |

(主な就職、業界等)

ファッションアドバイザー、アパレル店舗マネージャー、店舗スタッフ、バイヤー、ファッションコーディネーター、プレス、スタイリスト、マーチャンダイザー等

(就職指導内容)

- ・それぞれの適正を見極め、企業とのマッチングを行う。
- ・身だしなみ講座実施、面接指導、履歴書指導、インターンシップのフォロー

(主な学修成果（資格・検定等）)

- ・ファッションビジネス検定3級 ・販売士検定 ・AFT色彩能力検定3級
- ・パーソナルカラー検定3級 ・商業ラッピング検定3級

(備考)（任意記載事項）

| 中途退学の現状 | | |
|----------|----------------|-------|
| 年度当初在学者数 | 年度の途中における退学者の数 | 中退率 |
| 44人 | 5人 | 11.4% |

| |
|---|
| (中途退学の主な理由) 進路変更、体調不良、経済的事情 |
| (中退防止・中退者支援のための取組) ・休んだ当日に本人もしくは自宅に連絡し、状況を把握する。 ・日頃からの声掛け、定期的な面談を行い、学生の変化の早期発見に努めている。 |

| 分野 | | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | |
|----------|----|---------------------------|--------------------|--------------------|----------------------|-------------|-------------|
| 服飾・家政 | | 専門課程 | ファッションデザイン科 | ○ | | | |
| 修業 年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 3年 | 昼 | 3,030 単位時間/単位 | 270 単位時間 /単位 | 750 単位時間 /単位 | 2,010 単位時間 /単位 | 単位時間 /単位 | 単位時間 /単位 |
| | | | 3,030 単位時間/単位 | | | | |
| 生徒総定員数 | | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 | 兼任教員数 | 総教員数 | |
| 60人 | | 39人 | 1人 | 4人 | 22人 | 26人 | |

| カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---------|-----------------------------|------|------|---|---------|----------------|---|---|--------|-----------------------------|---|---|--------|------------------|---|----|-------|---------------|---|
| (概要) 授業計画(シラバス)の作成過程及び公表について 12月～次年度授業計画の策定 1月～担当教員への授業計画(シラバス)作成依頼 ・授業計画(シラバス)テンプレート配布 ・授業計画(シラバス)ガイドライン配布 2月～授業計画(シラバス)回収・チェック 3月～授業計画(シラバス)訂正・公表準備 4月～授業計画(シラバス)公表 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 成績評価の基準・方法 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (概要) 成績表は、科目ごと4段階評語(優・良・可・不可)、素点(0～100点)による評価で表す。不可および59点以下は不合格となり、単位を修得できない。また、成績評価をポイントに変換し、その総和の平均値を成績評価指標とする。 成績証明書は、4段階評価の評語で表示される。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <table border="1"> <thead> <tr> <th>評語</th> <th>素点</th> <th>意味</th> <th>ポイント</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>優</td> <td>80～100点</td> <td>到達目標をほぼ達成している。</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>良</td> <td>70～79点</td> <td>不十分な点は認められるものの、到達目標を達成している。</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>可</td> <td>60～69点</td> <td>到達目標の最低限は満たしている。</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>不可</td> <td>0～59点</td> <td>到達目標を充足していない。</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> | 評語 | 素点 | 意味 | ポイント | 優 | 80～100点 | 到達目標をほぼ達成している。 | 4 | 良 | 70～79点 | 不十分な点は認められるものの、到達目標を達成している。 | 2 | 可 | 60～69点 | 到達目標の最低限は満たしている。 | 1 | 不可 | 0～59点 | 到達目標を充足していない。 | 0 |
| 評語 | 素点 | 意味 | ポイント | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 優 | 80～100点 | 到達目標をほぼ達成している。 | 4 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 良 | 70～79点 | 不十分な点は認められるものの、到達目標を達成している。 | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 可 | 60～69点 | 到達目標の最低限は満たしている。 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 不可 | 0～59点 | 到達目標を充足していない。 | 0 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 成績評価指数= (4×優の科目数) + (2×良の科目数) + (1×可の科目数) ÷ 科目数 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 卒業・進級の認定基準 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (概要) 本校を卒業する人材は、学則にある「教育基本法に則り、学校教育法に従い、服装並びにデザイン業務に関する知識・技能を授けるとともに一般教養を高め、有能な職業人、社会人を育成する」ことが教育目的であり、学科ごとの専門教育を学習し、以下の能力等を有している。 ■専門分野についての基本的な技術・知識を有し、社会のその分野の中で活用することができる。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ■キャリア教育等の基本的なスキルを身につけている。 ■社会人基礎力を身につけている。 <p>また、以下の条件を満たしていなければならない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■必須科目の成績評価に不可が無いこと。 ■年間出席時限数が年間消化時間の85%以上であること。 ■学納金が未納でないこと。 <p>本校のディプロマポリシーに基づき、各学科のディプロマポリシーを設定する。</p> |
| 学修支援等 |
| <p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別指導の実施 ・補習、再テスト等の実施による習熟度向上対策の実施 |

| | | | |
|---|------------|-------------------|--------------|
| 卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載） | | | |
| 卒業生数 | 進学者数 | 就職者数 (自営業を含む。) | その他 |
| 13人 (100%) | 0人 (0%) | 12人 (92.3%) | 1人 (7.7%) |
| <p>(主な就職、業界等)</p> <p>ファッションデザイナー、パタンナー、マーチャンダイザー、アパレルプランナー、ファッションリフォーマー、衣装デザイナー、服飾縫製、裁断士等</p> | | | |
| <p>(就職指導内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの適正を見極め、企業とのマッチングを行う。 ・身だしなみ講座実施、面接指導、履歴書指導、インターンシップのフォロー | | | |
| <p>(主な学修成果（資格・検定等）)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パターンメイキング技術検定2級、3級 ・洋裁技術検定 ・AFT色彩能力検定2級、3級 ・専修学校専門課程准教員認定 | | | |
| <p>(備考)（任意記載事項）</p> | | | |

| | | |
|---|----------------|------|
| 中途退学の現状 | | |
| 年度当初在学者数 | 年度の途中における退学者の数 | 中退率 |
| 45人 | 3人 | 6.7% |
| <p>(中途退学の主な理由)</p> <p>進路変更、体調不良、経済的事情</p> | | |
| <p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・休んだ当日に本人もしくは自宅に連絡し、状況を把握する。 ・日頃からの声掛け、定期的な面談を行い、学生の変化の早期発見に努めている。 | | |

| | | | | | | | | |
|----------|----|---------------------------|---------------|--------------------|--------------------|----------------------|-------------|-------------|
| 分野 | | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | | |
| 服飾・家政 | | 専門課程 | ブライダル・ビューティー科 | ○ | | | | |
| 修業 年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 | | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 2年 | 昼 | 1,980 単位時間/単位 | | 150 単位時間 /単位 | 810 単位時間 /単位 | 1,020 単位時間 /単位 | 単位時間 /単位 | 単位時間 /単位 |
| | | | | 1,980 単位時間/単位 | | | | |
| 生徒総定員数 | | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 | 兼任教員数 | 総教員数 | | |
| 60人 | | 72人 | 0人 | 3人 | 19人 | 21人 | | |

| カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---------|-----------------------------|------|----|----|----|------|---|---------|----------------|---|---|--------|-----------------------------|---|---|--------|------------------|---|----|-------|---------------|---|
| <p>（概要）</p> <p>授業計画（シラバス）の作成過程及び公表について</p> <p>12月～次年度授業計画の策定</p> <p>1月～担当教員への授業計画（シラバス）作成依頼</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業計画（シラバス）テンプレート配布 ・授業計画（シラバス）ガイドライン配布 <p>2月～授業計画（シラバス）回収・チェック</p> <p>3月～授業計画（シラバス）訂正・公表準備</p> <p>4月～授業計画（シラバス）公表</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 成績評価の基準・方法 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>（概要）</p> <p>成績表は、科目ごと4段階評語（優・良・可・不可）、素点（0～100点）による評価で表す。不可および59点以下は不合格となり、単位を修得できない。また、成績評価をポイントに変換し、その総和の平均値を成績評価指標とする。</p> <p>成績証明書は、4段階評価の評語で表示される。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評語</th> <th>素点</th> <th>意味</th> <th>ポイント</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>優</td> <td>80～100点</td> <td>到達目標をほぼ達成している。</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>良</td> <td>70～79点</td> <td>不十分な点は認められるものの、到達目標を達成している。</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>可</td> <td>60～69点</td> <td>到達目標の最低限は満たしている。</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>不可</td> <td>0～59点</td> <td>到達目標を充足していない。</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>成績評価指数=（4×優の科目数）+（2×良の科目数）+（1×可の科目数）÷科目数</p> | | | | 評語 | 素点 | 意味 | ポイント | 優 | 80～100点 | 到達目標をほぼ達成している。 | 4 | 良 | 70～79点 | 不十分な点は認められるものの、到達目標を達成している。 | 2 | 可 | 60～69点 | 到達目標の最低限は満たしている。 | 1 | 不可 | 0～59点 | 到達目標を充足していない。 | 0 |
| 評語 | 素点 | 意味 | ポイント | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 優 | 80～100点 | 到達目標をほぼ達成している。 | 4 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 良 | 70～79点 | 不十分な点は認められるものの、到達目標を達成している。 | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 可 | 60～69点 | 到達目標の最低限は満たしている。 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 不可 | 0～59点 | 到達目標を充足していない。 | 0 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 卒業・進級の認定基準 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>（概要）</p> <p>本校を卒業する人材は、学則にある「教育基本法に則り、学校教育法に従い、服装並びにデザイン業務に関する知識・技能を授けるとともに一般教養を高め、有能な職業人、社会人を育成する」ことが教育目的であり、学科ごとの専門教育を学習し、以下の能力等を有している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■専門分野についての基本的な技術・知識を有し、社会のその分野の中で活用することができる。 ■キャリア教育等の基本的なスキルを身につけている。 ■社会人基礎力を身につけている。 <p>また、以下の条件を満たしていなければならない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■必須科目の成績評価に不可が無いこと。 ■年間出席時限数が年間消化時間の85%以上であること。 ■学納金が未納でないこと。 <p>本校のディプロマポリシーに基づき、各学科のディプロマポリシーを設定する。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| |
|--|
| 学修支援等 (概要) ・個別指導の実施 ・補習、再テスト等の実施による習熟度向上対策の実施 |
|--|

| | | | |
|---|------------|-------------------|--------------|
| 卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載） | | | |
| 卒業生数 | 進学者数 | 就職者数 (自営業を含む。) | その他 |
| 21人 (100%) | 0人 (0%) | 20人 (95.2%) | 1人 (4.8%) |
| (主な就職、業界等) ブライダルプランナー、エステティシャン、ビューティーアドバイザー、ネイリスト、メイクアップアーティスト、メイクアドバイザー、セレモニースタッフ等 | | | |
| (就職指導内容) ・それぞれの適正を見極め、企業とのマッチングを行う。 ・身だしなみ講座実施、面接指導、履歴書指導、インターンシップのフォロー | | | |
| (主な学修成果（資格・検定等）) ・ブライダルファッションプランナー検定 ・パーソナルカラー検定 ・AFT 色彩能力検定 2 級、3 級 ・アロマセラピー検定 2 級 ・ネイリスト技能検定 2 級、3 級 | | | |
| (備考)（任意記載事項） | | | |

| | | |
|---|----------------|-------|
| 中途退学の現状 | | |
| 年度当初在学者数 | 年度の途中における退学者の数 | 中退率 |
| 56人 | 7人 | 12.5% |
| (中途退学の主な理由) 進路変更、体調不良、経済的事情 | | |
| (中退防止・中退者支援のための取組) ・休んだ当日に本人もしくは自宅に連絡し、状況を把握する。 ・日頃からの声掛け、定期的な面談を行い、学生の変化の早期発見に努めている。 | | |

| | | | | | | | |
|----------|------|---------------------------|--------------------|----------------------|--------------------|-------------|-------------|
| 分野 | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | | |
| 文化・教養 | 専門課程 | グラフィックデザイン科 | ○ | | | | |
| 修業 年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 3年 | 昼 | 3,030 単位時間/単位 | 390 単位時間 /単位 | 2,340 単位時間 /単位 | 300 単位時間 /単位 | 単位時間 /単位 | 単位時間 /単位 |
| | | 3,030 単位時間/単位 | | | | | |
| 生徒総定員数 | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 | 兼任教員数 | 総教員数 | | |
| 180人 | 225人 | 2人 | 3人 | 42人 | 45人 | | |

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）

授業計画（シラバス）の作成過程及び公表について

- 12月 ～ 次年度授業計画の策定
- 1月 ～ 担当教員への授業計画（シラバス）作成依頼
 - ・ 授業計画（シラバス）テンプレート配布
 - ・ 授業計画（シラバス）ガイドライン配布
- 2月 ～ 授業計画（シラバス）回収・チェック
- 3月 ～ 授業計画（シラバス）訂正・公表準備
- 4月 ～ 授業計画（シラバス）公表

成績評価の基準・方法

（概要）

成績表は、科目ごと4段階評語（優・良・可・不可）、素点（0～100点）による評価で表す。不可および59点以下は不合格となり、単位を修得できない。また、成績評価をポイントに変換し、その総和の平均値を成績評価指標とする。

成績証明書は、4段階評価の評語で表示される。

| 評語 | 素点 | 意味 | ポイント |
|----|---------|-----------------------------|------|
| 優 | 80～100点 | 到達目標をほぼ達成している。 | 4 |
| 良 | 70～79点 | 不十分な点は認められるものの、到達目標を達成している。 | 2 |
| 可 | 60～69点 | 到達目標の最低限は満たしている。 | 1 |
| 不可 | 0～59点 | 到達目標を充足していない。 | 0 |

成績評価指数= (4×優の科目数) + (2×良の科目数) + (1×可の科目数) ÷ 科目数

卒業・進級の認定基準

（概要）

本校を卒業する人材は、学則にある「教育基本法に則り、学校教育法に従い、服装並びにデザイン業務に関する知識・技能を授けるとともに一般教養を高め、有能な職業人、社会人を育成する」ことが教育目的であり、学科ごとの専門教育を学習し、以下の能力等を有している。

- 専門分野についての基本的な技術・知識を有し、社会のその分野の中で活用することができる。
 - キャリア教育等の基本的なスキルを身につけている。
 - 社会人基礎力を身につけている。
- また、以下の条件を満たしていなければならない。
- 必須科目の成績評価に不可が無いこと。
 - 年間出席時限数が年間消化時間の85%以上であること。
 - 学納金が未納でないこと。

本校のディプロマポリシーに基づき、各学科のディプロマポリシーを設定する。

学修支援等

（概要）

- ・ 個別指導の実施
- ・ 補習、再テスト等の実施による習熟度向上対策の実施

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

| 卒業者数 | 進学者数 | 就職者数 (自営業を含む。) | その他 |
|------|------|-------------------|-----|
| | | | |

| | | | |
|---|------------|----------------|---------------|
| 42人 (100%) | 0人 (0%) | 36人 (85.7%) | 6人 (14.3%) |
| (主な就職、業界等) 広告関連企業、Web制作会社、印刷会社、デザイン事務所、デザイン制作会社、写真スタジオ、映像制作会社 | | | |
| (就職指導内容) ・それぞれの適正を見極め、企業とのマッチングを行う。 ・身だしなみ講座実施、面接指導、履歴書指導、インターンシップのフォロー | | | |
| (主な学修成果(資格・検定等)) ・AFT色彩検定2級、3級 ・ビジネスマナー検定3級 ・情報処理技能検定2級、3級 ・DTP検定 ・漫画能力検定 | | | |
| (備考) (任意記載事項) | | | |

| | | |
|---|----------------|------|
| 中途退学の現状 | | |
| 年度当初在学者数 | 年度の途中における退学者の数 | 中退率 |
| 198人 | 14人 | 7.1% |
| (中途退学の主な理由) 進路変更、体調不良、精神的な体調不良、学業不振 | | |
| (中退防止・中退者支援のための取組) ・休んだ当日に本人もしくは自宅に連絡し、状況を把握する。 ・日頃からの声掛け、定期的な面談を行い、学生の変化の早期発見に努めている。 | | |

| 分野 | | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | |
|----------|----|---------------------------|--------------------|----------------------|-------------------|-------------|-------------|
| 文化・教養 | | 専門課程 | プロダクトデザイン科 | ○ | | | |
| 修業 年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 3年 | 昼 | 2,940 単位時間/単位 | 330 単位時間 /単位 | 2,520 単位時間 /単位 | 90 単位時間 /単位 | 単位時間 /単位 | 単位時間 /単位 |
| | | | 2,940 単位時間/単位 | | | | |
| 生徒総定員数 | | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 | 兼任教員数 | 総教員数 | |
| 60人 | | 65人 | 2人 | 4人 | 33人 | 37人 | |

| |
|---|
| カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画) |
| (概要) 授業計画(シラバス)の作成過程及び公表について 12月 ～ 次年度授業計画の策定 1月 ～ 担当教員への授業計画(シラバス)作成依頼 ・授業計画(シラバス)テンプレート配布 ・授業計画(シラバス)ガイドライン配布 2月 ～ 授業計画(シラバス)回収・チェック 3月 ～ 授業計画(シラバス)訂正・公表準備 4月 ～ 授業計画(シラバス)公表 |

| 成績評価の基準・方法 | | | |
|---|---------|-----------------------------|------|
| (概要) | | | |
| 成績表は、科目ごと4段階評語(優・良・可・不可)、素点(0~100点)による評価で表す。不可および59点以下は不合格となり、単位を修得できない。また、成績評価をポイントに変換し、その総和の平均値を成績評価指標とする。 | | | |
| 成績証明書は、4段階評価の評語で表示される。 | | | |
| 評語 | 素点 | 意味 | ポイント |
| 優 | 80~100点 | 到達目標をほぼ達成している。 | 4 |
| 良 | 70~79点 | 不十分な点は認められるものの、到達目標を達成している。 | 2 |
| 可 | 60~69点 | 到達目標の最低限は満たしている。 | 1 |
| 不可 | 0~59点 | 到達目標を充足していない。 | 0 |
| 成績評価指数= (4×優の科目数) + (2×良の科目数) + (1×可の科目数) ÷ 科目数 | | | |
| 卒業・進級の認定基準 | | | |
| (概要) | | | |
| 本校を卒業する人材は、学則にある「教育基本法に則り、学校教育法に従い、服装並びにデザイン業務に関する知識・技能を授けるとともに一般教養を高め、有能な職業人、社会人を育成する」ことが教育目的であり、学科ごとの専門教育を学習し、以下の能力等を有している。 | | | |
| ■専門分野についての基本的な技術・知識を有し、社会のその分野の中で活用することができる。 | | | |
| ■キャリア教育等の基本的なスキルを身につけている。 | | | |
| ■社会人基礎力を身につけている。 | | | |
| また、以下の条件を満たしていなければならない。 | | | |
| ■必須科目の成績評価に不可が無いこと。 | | | |
| ■年間出席時限数が年間消化時間の85%以上であること。 | | | |
| ■学納金が未納でないこと。 | | | |
| 本校のディプロマポリシーに基づき、各学科のディプロマポリシーを設定する。 | | | |
| 学修支援等 | | | |
| (概要) | | | |
| ・個別指導の実施 | | | |
| ・補習、再テスト等の実施による習熟度向上対策の実施 | | | |

| 卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載) | | | |
|---|--------------|-------------------|---------------|
| 卒業生数 | 進学者数 | 就職者数 (自営業を含む。) | その他 |
| 27人 (100%) | 1人 (3.7%) | 21人 (77.8%) | 5人 (18.5%) |
| (主な就職、業界等) | | | |
| プロダクトデザイナー、家具デザイナー、雑貨デザイナー、ジュエリーデザイナー、家具企画販売、CADオペレーター、家具職人、伝統工芸職人等 | | | |
| (就職指導内容) | | | |
| ・それぞれの適正を見極め、企業とのマッチングを行う。 | | | |
| ・身だしなみ講座実施、面接指導、履歴書指導、インターンシップのフォロー | | | |
| (主な学修成果(資格・検定等)) | | | |
| ・AFT色彩検定2級、3級 ・ビジネス実務マナー検定3級 | | | |
| ・商業ラッピング検定3級 ・レタリング検定2級、3級 | | | |

(備考) (任意記載事項)

| 中途退学の現状 | | |
|---|----------------|------|
| 年度当初在学者数 | 年度の途中における退学者の数 | 中退率 |
| 78人 | 3人 | 3.8% |
| (中途退学の主な理由) 進路変更、経済的事情 | | |
| (中退防止・中退者支援のための取組) ・休んだ当日に本人もしくは自宅に連絡し、状況を把握する。 ・日頃からの声掛け、定期的な面談を行い、学生の変化の早期発見に努めている。 | | |

| 分野 | | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | |
|----------|----|---------------------------|--------------------|----------------------|-------------|-------------|-------------|
| 文化・教養 | | 専門課程 | インテリアデザイン科 | ○ | | | |
| 修業 年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 3年 | 昼 | 2,940 単位時間/単位 | 210 単位時間 /単位 | 2,730 単位時間 /単位 | 単位時間 /単位 | 単位時間 /単位 | 単位時間 /単位 |
| | | | 2,940 単位時間/単位 | | | | |
| 生徒総定員数 | | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 | 兼任教員数 | 総教員数 | |
| 60人 | | 50人 | 1人 | 4人 | 33人 | 37人 | |

| カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画) | | | |
|---|---------|-----------------------------|------|
| (概要) 授業計画(シラバス)の作成過程及び公表について 12月～次年度授業計画の策定 1月～担当教員への授業計画(シラバス)作成依頼 ・授業計画(シラバス)テンプレート配布 ・授業計画(シラバス)ガイドライン配布 2月～授業計画(シラバス)回収・チェック 3月～授業計画(シラバス)訂正・公表準備 4月～授業計画(シラバス)公表 | | | |
| 成績評価の基準・方法 | | | |
| (概要) 成績表は、科目ごと4段階評語(優・良・可・不可)、素点(0～100点)による評価で表す。不可および59点以下は不合格となり、単位を修得できない。また、成績評価をポイントに変換し、その総和の平均値を成績評価指標とする。 成績証明書は、4段階評価の評語で表示される。 | | | |
| 評語 | 素点 | 意味 | ポイント |
| 優 | 80～100点 | 到達目標をほぼ達成している。 | 4 |
| 良 | 70～79点 | 不十分な点は認められるものの、到達目標を達成している。 | 2 |
| 可 | 60～69点 | 到達目標の最低限は満たしている。 | 1 |
| 不可 | 0～59点 | 到達目標を充足していない。 | 0 |
| 成績評価指数= (4×優の科目数) + (2×良の科目数) + (1×可の科目数) ÷ 科目数 | | | |

| |
|--|
| <p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(概要)</p> <p>本校を卒業する人材は、学則にある「教育基本法に則り、学校教育法に従い、服装並びにデザイン業務に関する知識・技能を授けるとともに一般教養を高め、有能な職業人、社会人を育成する」ことが教育目的であり、学科ごとの専門教育を学習し、以下の能力等を有している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■専門分野についての基本的な技術・知識を有し、社会のその分野の中で活用することができる。 ■キャリア教育等の基本的なスキルを身につけている。 ■社会人基礎力を身につけている。 <p>また、以下の条件を満たしていなければならない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■必須科目の成績評価に不可が無いこと。 ■年間出席時限数が年間消化時間の85%以上であること。 ■学納金が未納でないこと。 <p>本校のディプロマポリシーに基づき、各学科のディプロマポリシーを設定する。</p> |
| <p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別指導の実施 ・補習、再テスト等の実施による習熟度向上対策の実施 |

| | | | |
|---|------------|-------------------|------------|
| 卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載） | | | |
| 卒業生数 | 進学者数 | 就職者数 (自営業を含む。) | その他 |
| 12人 (100%) | 0人 (0%) | 12人 (100%) | 0人 (0%) |
| (主な就職、業界等) インテリアコーディネーター、インテリアデザイナー、ハウジングアドバイザー、エクステリアデザイナー、ディスプレイデザイナー、住宅・店舗設計施工等 | | | |
| (就職指導内容) ・それぞれの適正を見極め、企業とのマッチングを行う。 ・身だしなみ講座実施、面接指導、履歴書指導、インターンシップのフォロー | | | |
| (主な学修成果（資格・検定等）) ・インテリアコーディネーター資格試験 ・建築CAD検定3級 ・AFT色彩検定2級、3級 ・ビジネス実務マナー検定3級 | | | |
| (備考)（任意記載事項） | | | |

| | | |
|--------------------------|----------------|------|
| 中途退学の現状 | | |
| 年度当初在学者数 | 年度の途中における退学者の数 | 中退率 |
| 52人 | 1人 | 1.9% |
| (中途退学の主な理由) 進路変更、体調不良 | | |

| |
|---------------------------------------|
| (中退防止・中退者支援のための取組) |
| ・休んだ当日に本人もしくは自宅に連絡し、状況を把握する。 |
| ・日頃からの声掛け、定期的な面談を行い、学生の変化の早期発見に努めている。 |

| | | | | | | | |
|----------|----|---------------------------|--------------------|----------------------|--------------------|-------------|-------------|
| 分野 | | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | |
| 服飾・家政 | | 専門課程 | フラワーデザイン科 | ○ | | | |
| 修業 年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 2年 | 昼 | 1,920 単位時間/単位 | 450 単位時間 /単位 | 1,350 単位時間 /単位 | 120 単位時間 /単位 | 単位時間 /単位 | 単位時間 /単位 |
| | | | 1,920 単位時間/単位 | | | | |
| 生徒総定員数 | | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 | 兼任教員数 | 総教員数 | |
| 40人 | | 25人 | 1人 | 3人 | 26人 | 29人 | |

| | | | |
|---|---------|-----------------------------|------|
| カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画) | | | |
| (概要) | | | |
| 授業計画(シラバス)の作成過程及び公表について | | | |
| 12月 ～ 次年度授業計画の策定 | | | |
| 1月 ～ 担当教員への授業計画(シラバス)作成依頼 | | | |
| ・授業計画(シラバス)テンプレート配布 | | | |
| ・授業計画(シラバス)ガイドライン配布 | | | |
| 2月 ～ 授業計画(シラバス)回収・チェック | | | |
| 3月 ～ 授業計画(シラバス)訂正・公表準備 | | | |
| 4月 ～ 授業計画(シラバス)公表 | | | |
| 成績評価の基準・方法 | | | |
| (概要) | | | |
| 成績表は、科目ごと4段階評語(優・良・可・不可)、素点(0～100点)による評価で表す。不可および59点以下は不合格となり、単位を修得できない。また、成績評価をポイントに変換し、その総和の平均値を成績評価指標とする。 | | | |
| 成績証明書は、4段階評価の評語で表示される。 | | | |
| 評語 | 素点 | 意味 | ポイント |
| 優 | 80～100点 | 到達目標をほぼ達成している。 | 4 |
| 良 | 70～79点 | 不十分な点は認められるものの、到達目標を達成している。 | 2 |
| 可 | 60～69点 | 到達目標の最低限は満たしている。 | 1 |
| 不可 | 0～59点 | 到達目標を充足していない。 | 0 |
| 成績評価指数= (4×優の科目数) + (2×良の科目数) + (1×可の科目数) ÷ 科目数 | | | |
| 卒業・進級の認定基準 | | | |
| (概要) | | | |
| 本校を卒業する人材は、学則にある「教育基本法に則り、学校教育法に従い、服装並びにデザイン業務に関する知識・技能を授けるとともに一般教養を高め、有能な職業人、社会人を育成する」ことが教育目的であり、学科ごとの専門教育を学習し、以下の能力等を有している。 | | | |
| ■専門分野についての基本的な技術・知識を有し、社会のその分野の中で活用することができる。 | | | |
| ■キャリア教育等の基本的なスキルを身につけている。 | | | |
| ■社会人基礎力を身につけている。 | | | |
| また、以下の条件を満たしていなければならない。 | | | |

| |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ■ 必須科目の成績評価に不可が無いこと。 ■ 年間出席時限数が年間消化時間の85%以上であること。 ■ 学納金が未納でないこと。 <p>本校のディプロマポリシーに基づき、各学科のディプロマポリシーを設定する。</p> |
| 学修支援等 |
| (概要) <ul style="list-style-type: none"> ・ 個別指導の実施 ・ 補習、再テスト等の実施による習熟度向上対策の実施 |

| | | | |
|---|------------|-------------------|------------|
| 卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載） | | | |
| 卒業生数 | 進学者数 | 就職者数 (自営業を含む。) | その他 |
| 14人 (100%) | 0人 (0%) | 14人 (100%) | 0人 (0%) |
| (主な就職、業界等) フローリスト、ブライダルフラワープランナー、フラワーデザイナー、 フラワースタイリスト、グリーンアドバイザー、園芸福祉士等 | | | |
| (就職指導内容) ・それぞれの適正を見極め、企業とのマッチングを行う。 ・身だしなみ講座実施、面接指導、履歴書指導、インターンシップのフォロー | | | |
| (主な学修成果（資格・検定等）) ・フラワー装飾技能検定 ・ブライダルフラワープランナー検定 ・AFT 色彩能力検定 2 級、3 級 ・販売士検定 ・サービス接客検定 | | | |
| (備考) (任意記載事項) | | | |

| | | |
|---|----------------|------|
| 中途退学の現状 | | |
| 年度当初在学者数 | 年度の途中における退学者の数 | 中退率 |
| 30人 | 2人 | 6.7% |
| (中途退学の主な理由) 進路変更、体調不良、経済的事情 | | |
| (中退防止・中退者支援のための取組) ・休んだ当日に本人もしくは自宅に連絡し、状況を把握する。 ・日頃からの声掛け、定期的な面談を行い、学生の変化の早期発見に努めている。 | | |

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

| 学科名 | 入学金 | 授業料 (年間) | その他 | 備考 (任意記載事項) |
|---|-----------|-------------|-----|-------------|
| ファッションビジネス科 | 220,000 円 | 890,000 円 | 円 | |
| ファッションデザイン科 | 220,000 円 | 890,000 円 | 円 | |
| ブライダル・ビューティー科 | 220,000 円 | 890,000 円 | | |
| グラフィックデザイン科 | 220,000 円 | 960,000 円 | | |
| プロダクトデザイン科 | 220,000 円 | 960,000 円 | | |
| インテリアデザイン科 | 220,000 円 | 960,000 円 | 円 | |
| フラワーデザイン科 | 220,000 円 | 890,000 円 | 円 | |
| 修学支援 (任意記載事項) | | | | |
| 本校では人物、学力に優れ、他の模範となるであろうと認められる者に対し、学費を優遇する特待生制度がある。本校の行う特待生入試の試験結果に基づき特待生・準特待生 A・準特待生 B・準特待生 C を認定する。 | | | | |

b) 学校評価

| | | |
|--|-------------------------------------|------|
| 自己評価結果の公表方法 | | |
| (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.sdc.ac.jp/school/school-info/#public-info | | |
| 学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・自校の教育活動や自己評価結果について、自己評価の客観性・透明性を高めるとともに、学校運営の改善、教育力の向上に資することを目的とする。 ・定例の学校関係者評価委員会を開催。学内委員より自己評価結果及び改善策を説明し、学外委員の評価を受けた後、結果を取りまとめて公表する。 ・主な評価項目 (1)教育理念・目標 (2)教育活動 (3)教育成果 (4)学生支援 (5)教育環境 (6)学生の募集と受入れ (7)教職員組織、学校運営・管理、財務、法令等の遵守 (8)社会貢献・地域貢献、国際交流 ・評価委員会の構成 定員：6名 (企業：3名 卒業生：1名 保護者：1名 地域住民：1名) ・評価結果の活用方法 評価結果について、校長 (責任者) を中心とした運営委員会で改善方策を検討し、可能な範囲で可能な限り早期に改善を実施する。 | | |
| 学校関係者評価の委員 | | |
| 所属 | 任期 | 種別 |
| 静岡デザイン専門学校 後援会 | 平成 31 年 4 月 1 日～ 令和 2 年 3 月 31 日 | 保護者 |
| 柴田千枝美デザイン事務所 | 平成 31 年 4 月 1 日～ 令和 2 年 3 月 31 日 | 卒業生 |
| 株式会社大丸松坂屋百貨店 | 平成 31 年 4 月 1 日～ 令和 2 年 3 月 31 日 | 関係業界 |
| 株式会社フローラ 45 小林岩夫生花店 | 平成 31 年 4 月 1 日～ 令和 2 年 3 月 31 日 | 関係業界 |
| 株式会社加減乗除 | 平成 31 年 4 月 1 日～ 令和 2 年 3 月 31 日 | 関係業界 |

| | | |
|--|-------------------------|------|
| 伝馬町発展会 | 平成31年4月1日～ 令和2年3月31日 | 近隣住民 |
| 学校関係者評価結果の公表方法 | | |
| (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.sdc.ac.jp/school/school-info/#public-info | | |
| 第三者による学校評価 (任意記載事項) | | |
| | | |

c) 当該学校に係る情報

| |
|--|
| (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.sdc.ac.jp/school/school-info/#public-info |
|--|